



紅言 坐鋪
 安永三年
 早合点全

八名草子

413
 3770





手13
3770 413
3770

旧
1963
74

後人替り

月録

大良おわのみ

見物れ如申



まの...
と入の...
し...
らん...
のちや...

う...
ら...
う...
ひ...
ち...



お新玉の奉入

お新玉の奉入



身...
お...
と...
ま...

け...
り...
と...
ら...
ち...

くわいとうし 津守長 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原
長谷川 長谷川 中川 大谷 廣原

か 出 狂 云 何
あ ん げ ん げ ん げ ん げ ん げ ん
ぎ ん げ ん げ ん げ ん げ ん げ ん
あ ん げ ん げ ん げ ん げ ん げ ん
他 何 何 何 何 何

権 自

本舞臺

ちのちかたきあめおのちのちとせ
そのまへはちりあはるうとあつと
よりあつとあつとあつとあつと
くさつとあつとあつとあつと
とあつとあつとあつとあつと
わつとあつとあつとあつと
とあつとあつとあつとあつと

さくらさくらも白くあつとあつと
さくらさくらもあつとあつと
さくらさくらもあつとあつと
さくらさくらもあつとあつと

幕わき

八けあつと
玉あつと
あつとあつと
あつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

あまのこゝろをいふは
あまのこゝろをいふは

又人のこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

あまのこゝろをいふは

八
うんたふちかたむかた

五
あまのほこたむのたふち

四
あまのほこたむのたふち

三
あまのほこたむのたふち

二
あまのほこたむのたふち

一
あまのほこたむのたふち

あまのほこたむのたふち

あまのほこたむのたふち

あまのほこたむのたふち

あまのほこたむのたふち

あまのほこたむのたふち

大

七

後身 ちんちんきんきんきんきんきんきんきん
きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん
きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん
きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん
きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん
きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん

三人 ちんちんきんきんきんきんきんきんきん

あすのあすのあすのあすのあすのあすのあすの

けさ ぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬきぬき

きんきんきんきんきんきんきんきんきんきん

後身 ちんちんきんきんきんきんきんきんきん

西京 ちんちんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちんちんきんきんきんきんきんきんきんきん

中 せいせきんせりせんとあはれ
けす わんせりせりせりせりせりせり
せりせりせりせりせり

一 せんせりせりせり

五 せいせりせり

せりせりせりせりせりせりせりせり

廣居 せりせりせりせりせりせりせり

おきせりせりせり

八 せんせんせんせんせんせんせんせん
るせんせんせんせんせんせんせん
せんせんせんせんせん

二人 まあせりせり

ちり ああせりせりせりせりせりせり

さりせり

せりせりせりせり

八 せんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせん

廣居 せんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせんせんせんせん

せんせんせんせんせん

五
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

六
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

七
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

八
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

九
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

十
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき
あはれなるはなはたしき

十一

十二

けふ

あまのこゝろありてはるけり

八景

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろあり

きり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろあり

八景

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろあり

けふ

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろあり

八景

あまのこゝろありてはるけり

けふ

あまのこゝろありてはるけり

あまのこゝろあり

あまのこゝろあり

けふ

あまのこゝろありてはるけり

けふ

あまのこゝろありてはるけり

けふ

あまのこゝろありてはるけり

つらりしをばとてつらりしもももつらりしや
さうさうなつらりしやさうさうなつらりしや
さうさうなつらりしやさうさうなつらりしや

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

二の文

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ちれも

ちりちりちりちりちりちりちりちりちりちり

ち

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを
それとせうしんせうりてあつちうとあつちう

のりこ

のび

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あつちう

あつちうしんじんせうりてあつちうとあつちうのやまを

あ

あ

七

とめさんとうとうちんさん

八

そののけぞやうちんたのうけん

ちんさんちんさんちんさんちんさん

九

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

十

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

十一

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

十二

とめさんとうとうちんさん

十三

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

十四

とめさんとうとうちんさん

とめさんとうとうちんさん

おそろしきわかれし — 20555555

御書 とれし海にすゝめたるものいふわら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら

八分 あんどもうぬがやあゆむらハこれ
 けさうしむいさく又ハスにぞら

後法 りやアはらぬおしあふらあはら
 くあゆむいさく又ハスにぞら
 けさうしむいさく又ハスにぞら

御書 何におまうしむいさく又ハスにぞら
 めあまうしむいさく又ハスにぞら
 がうぬがやあゆむらハこれ
 けんたせやあゆむらハこれ
 けさうしむいさく又ハスにぞら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら
 ちるにやうしむいさく又ハスにぞら

後法 さうしむいさく又ハスにぞら

御書 さうしむいさく又ハスにぞら

八分 せんどうあうぬがやあゆむらハこれ
 けさうしむいさく又ハスにぞら

もうだらうしゆらぶらびみあもあも
ぢやあまふ入しつちふめが終ん
ふたふふううもあふふふふら
けらあしうわあううもあふ

このまゝにうらうらうらうらうら
うううんいふかところだわううあ
とあ
うん
うん

さらうあ
うん〜幕

あうあるああつああふよこのよあ
あが〜あ〜と〜は〜あ〜あ〜
あううあ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
うん〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜

そめいよがいにさめうらうらう
そのうらうらうらうらうらうらう
あらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう
あせうらう中へ火をくわすあり

らまをうらうらうらうらう

うらうらうらうらうらうらうらう
ひらうらうらうらうらうらうらう
やがうらうらうらうらうらうらう

うらうらうらうらうらうらうらう
あまうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう

たがうらうらうらう

うらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらう

あつひからびとさうしてそのらび
ふくひの中さうしてさうして
そのさうしてけいさうしてさうして
りのわるまふあつひとわけそのさ
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして

大
二

あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして
あつひさうしてさうしてさうして

いふこと

大
三十一
はかどく〜まるおと〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
の〜く〜く〜く〜の〜形〜く〜く〜
〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜

きく〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜

おびく〜く〜く〜く〜く〜く〜

く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜



く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜
く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜く〜

Handwritten text in a cursive script, possibly a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. A small, dark, circular mark or stamp is visible near the top center of the page.

Handwritten text in a cursive script, possibly a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style.

又
か
な
分一あま

安永三年正月

中橋

本屋藤藏板



